

第2学年 学年総合学習 ～“Society” 今 私たちにできること～

渡辺 松一・木村 真冬・松本 純一・栗原 恵美子

1 はじめに

本校では「個の自立を支え、相互啓発を促す」総合的な学習を2本立てで実施してきた。

一つは総合Ⅰ（学年総合）として、学年として取り組む「協同学習による課題解決」。もう一つは総合Ⅱ（自主研究）として、生徒が個々にテーマを決めて取り組む「個別課題の探求学習」である。（参考：本校報告書『どうする日本』第一学年生徒による報告集／教員による学習支援計画と記録2002年10月～3月，p.171）

これらの取り組みの中で、総合的な学習で付けたい力が生徒の中に育まれるよう、目的・テーマ・学習形態・スキル・指導上の留意点などを考えてきた。

総合Ⅰ（学年総合）のおおよその流れは以下の通りである。

- ① 課題を主体的に発見する（自分たちが生きていく社会のニーズと自分たちの興味・関心に応じたテーマを、小グループや学年生徒全員での話し合いやアンケートの中から生徒が見つける）
- ② 人や社会と関わりながら情報収集する（目的に向かって講演・書籍など印刷物・HP・インタビュー・実験・体験など様々な方法で必要な情報を集める）
- ③ 情報や意見交換などから考えをまとめる（情報の信頼性などを検討し、中間発表を経てより多くの人から意見を得たり、時には仮説を立て実験などで検証したりして学びを深める）
- ④ 考えを発信し、得た学びを広く共有する（一人では調べきれない内容を各グループがそれぞれアプローチし、その結果を発表会やHPなどを利用して紹介したり、具体的な活動を行ったり、様々な形で発信していく）

教師が主導し学びの場を設定するのではなく、生徒の活動組織作りをきちんと行い、以下の点を意識しながら、複数の教員が関わっていくことが、総合的な学習のポイントと考える。

- 企画運営に生徒が積極的に参画する
- グループでお互い関わる
- クロスカリキュラムを組むなど教科や様々な場での学びを活かす
- 座学・机上で終わらずできる限り学校の外に出る活動を行う
- 学びを広く共有する

昨年度は1年目ということで、できるだけ多様な活動を体験させてグループでの研究活動に慣れさせてきた。結果、本校の教員がレクチャーする場面が多かった。今年度はまず初心に戻って、大テーマなどを確認したり、外部講師により生徒たちの視野を広げたりしてスタートを

切った。次に、3年生に継続することを前提に自主的な調べ学習や、中間発表などより主体的な活動の場面を多く設定してきた。個々の生徒に発達段階の差があり、課題も多く試行錯誤しながら進めているのが実際である。

2 1年間の総合学習（総合Ⅰ「学年総合」）のおよその流れ

月	内容（時間数）	ねらい・学習のポイント	教科との関連	活動主体
5月 ～ 9月	那須林間学校（25h）	・自然や環境について学ぶ ・グループ体験の計画・実行 ・教科クロスの視野	国語・社会・理科・美術・体育・家庭	クラスの班 グループ
10月	カラビアス教授のお話し（2h）	・環境について学ぶ ・国際的な視野	理科	学年
11月	佐々木先生のお話し（2h）	・自然環境について学ぶ ・地球創生期からの視野	理科	学年
12月	元青年海外協力隊員のお話し（2h）	・ボランティアについて学ぶ ・国際的な視野	社会	クラス
12月	日本パラリンピックキャラバン実行委員会体験講座プログラム（2h）	・ハンディキャップについて学ぶ ・スポーツからの視野	体育	学年
11月 ～ 3月	グループ学習（17h）	・多様な文化に生きる自分たちのことについて、考える ・よりよい社会づくりの為、自分たちにできることを考え行動しはじめる	国語他	テーマ別 小グループ

3 活動の記録

(1) 那須林間学校（2004. 7. 16～19）

4月に江ノ島へ行き、理科の授業の一環として地層や海食岩など、自然観察を班毎に行っている。環境を意識した取り組みで自然に触れながら学ぶことができた。それが終わり、体育大会が終わった頃から、本格的に那須林間学校の準備が始まった。以下は保護者向けのプリントの一部修正を加えた抜粋である。下記にあるプログラムに向けて、準備時間として約13時間を事前にとった。その中で林間学校総務（各クラス2名ずつ）を主体に、班毎にプログラムに向けて取り組んでいった。

1. 目 的

那須甲子の自然の中で、環境を意識しながら自然に親しみ、集団生活を通して仲間との交流や連帯を深める。

2. 日 程

2004年7月16日(金)～19日(月)の3泊4日

3. 宿泊先および救急医療機関

独立行政法人 国立那須甲子少年自然の家

〒961-8071 福島県西白河郡西郷村大字真船字村火6-1

電 話 0248-36-2331(代) F A X 0248-36-2150

<http://www.syonen.go.jp/jpn/shisetsu/nasukashi/index1.htm>

白河厚生総合病院

〒961-0907 福島県白河市横町114

電 話 0248-22-2211 F A X 0248-22-2218

4. 引 率 者

小川校長, 渡辺, 栗原, 木村, 松本, 菌部, 井上, 福田, 山梨(養護), 寺本, 寺井

5. 行動日程・時程

7月16日(金)

8:00 学校出発(バス4台) 途中休憩2回(羽生PA, 那須高原SA)各20分

12:00 剣桂ハイキングコース入口着
剣桂ハイキング開始(雨天時はコースを縮小して実施) 途中昼食, 剣桂見学

15:30 少年の家着 入所式, 入室後荷物整理と貴重品回収

17:15～19:00 部屋ごとに入浴と夕食

19:30 キャンプファイヤー(雨天時は場所を変えて実施)

22:00 部屋会合, 就寝準備 22:30 就寝

7月17日(土)

6:00 起床 6:50 ゆっくりグループ朝食 7:20 朝食

7:30 ゆっくりグループ赤面山登山出発

8:10 中堅グループ赤面山登山出発

8:50 健脚グループ赤面山登山出発(雨天時は, 少年の家周辺で実施)
赤面山山頂付近で昼食

16:00 少年の家着

16:30 女子は荷物整理後キャンプ場へ

男子

17:15～19:00まで 部屋ごとに入浴と夕食

20:00 学習(星空観察もしくは学習室見学)

21:30 部屋会合, 就寝準備 22:00 就寝

女子

17:00 キャンプ場着 諸注意, シュラフ配布, 食事, 営火場にてかたらいのひととき

22:00 就寝

7月18日(日)

6:30 起床 7:20 朝食 8:00 健康チェック

8:30 荷物整理(女子はこの時間までに本館に戻る)

9:00 全体集会, 飯盒炊爨説明(飯盒炊爨は生活班で)
12:00 作業終了
12:30 荷物整理後ピロティ集合, 沢巡りコーススタート
健脚グループ, 中堅グループ, ゆっくりグループの3グループごとに出発
16:00 少年の家着 16:30 男子は荷物整理後キャンプ場へ
女子

17:15~19:00 部屋ごとに入浴と夕食
20:00 学習(星空観察もしくは学習室見学)
21:30 部屋会合, 就寝準備 22:00 就寝
男子

17:00 キャンプ場着, 諸注意, シュラフ配布, 食事, 営火場にてかたらいのひと
とき
22:00 就寝

7月19日(月)

6:30 起床 7:20 朝食
8:30 荷物整理(男子はこの時間までに本館に戻る)
9:00 全体集会, オリエンテーリング説明
9:30 オリエンテーリングスタート(行動は生活班)
11:30 ピロティ(ゴール)集合 荷物整理(大きい荷物→宅配便)
12:00 昼食 13:00 退所式 13:30 少年の家出発
14:30 新白河駅着 15:26 新白河駅発 なすの250号
16:56 東京駅着(到着後解散)

各教科からの課題一覧は以下の通りである。

国語：『奥の細道』の概略を知る。風景などを観賞して幾つか俳句を作る。
 社会：地形を地図で読みとる。地図を見ながら歩く。
 理科：現地の植物を知る。植物を1つ選び、理科の用紙に葉の形をうつしとる。
 美術：印象に残った風景を簡単にスケッチしておく。
 家庭：野外での火おこし、豚汁について、食からの健康管理。シートにチェック。
 飯盒炊爨
 全体：9月に自然について感じたことを発表する。
 (例えば、詩・文章・イラスト・絵画・ダンス・歌)

当日は雨天で思うようにプログラムが進まないこともあったが、自然から貰う楽しみだけでなく厳しさを味わい、また都会とは違った原体験を通して、自分はどう行動したらよいかなど、自然環境への意識が高まったと考える。班行動では、人と関わって作り上げていく難しさややり甲斐を感じ取り、各自が以前の自分より成長し、次へのステップとなったと考える。

(2) カラビアス・リジョ教授のお話 (2004. 10. 25)

本校は大学の敷地内にあり、時折大学のプログラムに参加している。大学と連携しながら総合学習を進めていくことができ、大変恵まれた環境といえる。大きな行事を終え下地がある程度できたところで、総合学習を意識した次のプログラムを用意した。以下は生徒に配布したプリントの抜粋（一部修正）である。

10月25日の朝総カリと午後の講演資料

1. はじめに

1年の総合学習では、様々な分野を調べ、自分たちができる事は？といった視点で考える事ができました。さて、2年の総合学習ではどんな取り組みをしていきましょうか？各クラスの総合学習係を中心に、これから検討していきましょう。さて、その検討に役立てば良いなあと願って、本日の午後の講演会に参加する事を予定しました。滅多にならば嬉しいチャンスです。失礼が無いよう、きちんとした服装で、しっかり聞いてください。なお通訳ガイドのヘッドホーンを用意して頂きました。扱いを丁寧にしてください。

2. 講演について

「コスモス国際賞受賞及びお茶の水女子大学名誉博士称号授与記念講演会シンポジウム」

日 時 : 平成16年10月25日(月)午後13:30～

(移動のため、13:10に外履きで、職員玄関前に集合)

場 所 : お茶の水女子大学 徽音堂にて(座席は後で連絡します)

講演タイトル:「地球環境の変化と21世紀の持続的発展への挑戦」

“GLOBAL CHANGE AND CHALLENGES FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT

FOR THE 21ST CENTURY”

講 師 : フーリャ・カラビアス・リジョ (メキシコ国立自治大学教授)

Julia Carabias Lillo

講師紹介 : 熱帯雨林の再生, 地球の保全など, 恒に途上国からの視点で捉え, 将来を考える方です。1982年環境破壊が激しく, メキシコで最も貧しいと言われるガレロ州の知事からの要請で自然資源を枯渇させることなく住民の生活を向上させる具体的なプログラムを実施し, 大きな成果を上げました。また, 1994年~2000年まで環境・自然保護・漁業の担当大臣を務めました。(詳しくは別紙を参照しましょう)

3. レポートについて

裏面にメモしながら聞きましょう。それを基に指定の用紙に聞いてわかった事・感想を清書してください。27日(水)までに提出しましょう。

生徒にとり内容は多少難しかったようである。しかし, 日常的な中学校の校舎内ではなく, 満席状態でテレビカメラなどがある中雰囲気を感じ取り, アカデミックな環境に触れたことは, 一つの揺さぶりになったと考える。

(3) 佐々木先生のお話 (2004. 11. 16)

総合学習の大テーマを決める作業に入る直前として, 本校の教頭佐々木和枝先生から「地球環境を考える~私たちにできること~」というタイトルでミニプログラムが実施された。以下の内容を, 全員参加のクイズを交えながら, 和やかに進んでいった。

1. 地球カレンダー (46億年を365日とした場合, 地球誕生が1月1日としたならば, 陸の出現はおよそ何月何日か? ホモサピエンスの出現はおよそ何月何日か? 21世紀が始まったのはおよそ何月何日か? など)
2. 水について
3. 緑の環境について
4. エネルギーについて
5. 総合学習について

生徒の実態にあった進め方でぐっと引きつけられた時間となった。この時間を受けて, 『『これからの総合学習に向けて…』』大きなテーマとなるようなキーワードをあげてください。『多文化社会に生きる私たち』『よりより社会作り』に2つをモットーに頭を柔らかくし, いままでと少し違った面からあげてください」というアンケートを総合学習系の生徒が意欲的に作成した。この時間の話しを聞いて, 総合学習系の生徒は, 一つ意識が高くなったと思われた。

(4) 元青年海外協力隊員のお話 (2004. 12. 14)

事前に, VTR『ODAって何だろう』を視聴し, 「国際協力はなぜ必要か?」について考え, 「元青年海外協力隊員の方にお聞きしたいことは?」をアンケートに答えて貰うことを行った。そして, じっくり聞いたり質問したりする為, 学年全体で一人の方からお話

を聞くのではなく、各クラス毎に実施することにした。東京国際センターへ依頼し、元隊員の方4名をご紹介頂き、個別に詳細を、事前に打ち合わせした。以下内容一覧である。

氏名	派遣国	職種・所属や 活動内容	お話の内容	必要な機材他
2U Aさん	ザンビア H.13年4月 ～H.15年7	村落開発普及 栄養改善活動	国際協力に関わったきっかけ。フィリピン・ザンビアの生活状況や孤児院の子どもの話し 「世界がもし100人の村だったら」のワークショップ	実物投影機 世界地図 ビデオデッキ
2R Bさん	ベトナム H.14年7月 ～H.16年7	日本語教師 ハノイ国家大学	ベトナムの食物・街の様子、ベトナム戦争などもベトナムコーヒーのパフォーマンスと試飲	OHP 実物投影機 お湯 ビデオデッキ
2M Cさん	パラグアイ H.14年4月 ～H.16年4	野菜栽培 農家巡回指導等	パラグアイの中学生の様子農家巡回、学校菜園の話し。マテ茶の試飲	世界地図 実物投影機 地球儀・お湯
2K Dさん	メキシコ H.14年4月 ～H.16年4	青少年活動 ストリートチルドレンNGO	体験談を貧困問題、環境問題、女性問題、家庭問題と交えた話。 欲しいもの・必要なもの ワークショップ机・イス無し	パソコン(パワーポイント) プロジェクター 4つ切り画用紙 ペン(一人1本)

(5) 日本パラリンピックキャラバン実行委員会体験講座プログラム (2004.12.15)

先の大テーマキーワードのアンケートの結果、スポーツ系に興味関心が高い生徒が多いことがわかった。昨年度の取り組みから引き続きの生徒もいた。そこでハンディーがある方のスポーツに関するプログラムを全員対象に行った。以下は事前打ち合わせの資料からの抜粋(一部修正)である。

2004. 12. 14打ち合わせ

12月15日(水) 日本パラリンピックキャラバンのお話を伺う

【事前】

◎事前学習 松本 t

◎バスケット体験の生徒を選ぶ (16名)

バスケ部員(男子2名女子11名) + 男子各クラス1名 × 4 ?

◎車椅子を運ぶのを手伝うボランティア 各クラス1名

→最初 R・U男子 終わりM・K男子に変更

◎車椅子でどのルートをとるのが通りやすいか, 13日に実際に試して決定。

A: 階段→第二校舎入り口→階段→合併室前→ドア→階段→アリーナ後出入り口

B: 中庭→第二校舎外階段→階段→ドア→アリーナ後出入り口

C: 中庭→生徒昇降口→階段→アリーナ前出入り口

当日開始前 渡辺・井上・福田・関根・(寺本)・(石田)

←生徒が授業中で手伝えない可能性があるのをお願いしたい

当日終了後 渡辺・井上・福田・関根・松本・手伝い生徒

◎総合学習係は14日終礼後, 打ち合わせを行う

・司会者 開会のことば 閉会のことば

・アンケートから質問事項をまとめておき, 質問が出ない時に質問する

・終了後, JICAとパラリンピックキャラバンに御礼のお手紙を書く

◎校長先生, または教頭先生に挨拶を依頼しておく

◎14日研究会後, 学年担任・副担任で前日打ち合わせを

【当日の流れ】

1時間目 体育館準備(バスケットゴール用意・コートには物を置かない), 入り口に車椅子をふくぬれぞうきん10枚: 渡辺 t ステージにお茶用意: 菌部 t 放送設備・記録VTR準備: 福田 t

2時間目 10:00 講師到着→出迎え・駐車誘導 : 栗原 t 大学講堂トイレ案内: 山梨 t

★6~7台分の駐車スペースの確保 前日: 守衛室へ連絡: 栗原 t

朝: プール横・事務室前に立て看板をだしておく?: 松本 t

アリーナへの誘導・補助 : 渡辺 t・井上 t・福田 t・関根 t 他

司会 パラリンピック協会の方との打ち合わせ: 渡辺 t

10:35 15分休み 生徒はプリント・筆記用具を持ってアリーナへ。

防寒具可。

(バスケット体験生徒は着替えてから できれば先に着替えておく)

★2Mは技術室, 2Kは理科室で授業をしていたので, 急がせる。

授業を延ばさないように頼んでおく

生徒 クラス毎に整列: 総合学習係の指示で評議員が並べる

3・4時間目

10:50 開始 記録: 福田 t

校長先生(教頭先生)の挨拶 趣旨目的説明

講師によるデモンストレーション

講師講話(障害を持った経緯, スポーツをする意義等)

生徒体験 16名程度 質疑応答 まとめ

12:20頃終了

★早めに終わったら, 生徒は教室に戻り, ふりかえりシートに記入

放送・VTR片付け: 放送委員 湯茶片付け: 菌部 t

ぞうきん片付け等：総合学習係・木村
 教室に入るよう、声をかける：山梨 t
 ★玄関までの誘導・補助：渡辺・井上・福田・関根・松本・手伝い生徒

車いすに乗った方の迫力あるバスケットのプレイに感動した後、実際に数名がやらせて貰い十分に和んだ雰囲気となった。その後生徒は小グループに分かれアリーナの床に座り、プレーヤーから様々な話しを聞いた。なぜこのように車いす生活になったのか、その後の時の流れなど。生徒との年齢が近く、何よりも熱意のある方々から直接語られた言葉は、大変重みのあるものであった。その後、昼食の時間にもかかわらず、解散後も名残を惜しんでいる姿があった。

(6) グループ学習 (2004. 11. 16 ~2005. 3. 22)

① 総合学習係に関して

企画・運営を担当する生徒は、年度当初に立候補を募った。各クラスで生徒会委員や教科係などを決める際、一緒に行ったのである。1年の時は評議員がテーマ決めに関わったりしたが、今回は始めから自主的に責任を持って取り組んでいって欲しいと教員側は考えたのである。結果、昨年度関わった生徒をはじめやる気があり、じっくり取り組めるメンバーが集まった。男女同数が望ましいとも考えたが、男子が一人でも、本人や他のメンバーが納得した上で進めていき、特に支障もなく総合学習が進められた。

② テーマ決めに関して

教員側から総合学習係に総合学習についてねらいなども含めて詳しく話した。何回か前述のように揺さぶりをかけていた為か、話しはすんなり入っていった。全員対象のアンケートを作成し、キーワードを拾い、その結果を全生徒に返した。その後第2弾のアンケートを実施し、全員からの意見を吸い上げ大テーマを「“Society” 今 私たちにできること」決定していった。Societyについて自分たちで辞書を使って調べたり、英語科の教員に聞いたり、なぜ日本語ではないのか、という質問に答えるべく自分たちの考えをまとめていった。アンケートを元に大グループに関しても環境・健康・福祉・平和のテーマ区分に落ち着いた。

③ グループ分けに関して

昨年度はテーマのもとに、学年を越えてメンバーが集まるといった方式をとった。結果は好きな者同士になりがちであった。今年度はコミュニケーション力を高めることを意図し、ある程度‘縛り’を教員側はかけた。くじ引きで決まった通常の学校生活班は各クラス5班合計学年で20班ある。1班は男子(2~3名)と女子(4~5名)からなるが、今回は男子と女子ではじめ分けて希望するテーマや取り組みたい内容を挙げることにした。40個挙げた希望のうち、およそ同じテーマや内容をあげた男女グループで

組み合わせた。しかし、ぴったり行かないグループがあったので、一部屋に集め、どんなことをやりたいかを更に出し合い、摺り合わせてグルーピングしていった。一長一短はあるはずだが、人を認め受け入れて、自分だけでなく人も活かし自分も活きる練習をして欲しいと願ったのである。結果、何グループかは最後までよい距離感のままの所もあれば、校外活動を共に行ったり回を重ねたりする内に、まとまってくるグループも多くあった。

④ 教師の支援事例に関して

毎週毎週ある通常の授業と異なり間が空くと、総合学習の意味や学習の流れを忘れがちである。そこで、繰り返し繰り返しその意味を確認し、印刷物で提示したり、総合学習係に学年集会の場でビジュアルなプレゼンが短時間でも行えるよう場を設定したりした。また、教員が小グループのテーマの資料となるであろうHPや書籍を紹介したり、インタビューに応じてくれそうな機関・人を紹介したりすることで、やる気を持続させたりもした。中間発表で生徒同士の相互評価をさせるべくコンペ方式にし、結果発表を行う場を設定した。

⑤ 各グループが取り組んだ小テーマと活動内容

訪問先は様々であった。新宿警察、H I Vと人権センター、お茶大の研究室、街のペットショップ、など範囲は大変広い。また、訪問をきっかけに、募金活動など行動を起こしたグループもある。一覧は別紙の通りである。3年でも継続してやっていくという前提であったので、比較的ゆったり活動できていると考える。

⑥ グループ学習の流れ(展開)

次表は全体が関わっている内容である。その前後には、総合学習係の会合を設定した。

月 日	内 容	時数
11月16日	ガイダンス 1年での総合学習グループ学習等の復習	1
17日	大テーマのキーワードアンケートその1実施	
25日	同上 その2実施	1
30日	アンケートを受けて、テーマ「Society～今できること」の承認	
資料★1	「未来の展望」(よりよい社会のイメージ作り) グループワーク	2
1月20日	小グループのテーマ・やってみたいことの希望調査	
25日	小グループでやってみたいこと、社会貢献などのプレゼン・コンペ	2
2月1日	小グループ内での話し合い(今後の流れ確認、やってみたいこと)	2
2日	小グループ内での話し合い(訪問先・中間発表を意識して)	1
★2 15日	小グループでの調べ学習・話し合い	2
3月8日	小グループでの話し合い(校外学習に向けて)	2

★3	18日	校外活動（出かける者は、中間発表に向けて）	2
★4	22日	小グループによる中間発表	2

〈資料★1〉

「未来の展望」2004. 11. 30

未来のシナリオ 私が生きている間に実現しそうか？	可能	ありそう	不可能	なって欲しい なって欲しくない	4人で話し合った時に 出てきた考え
①先進国が開発途上国に援助し，世界の国々はみな豊かになる。					
②建物などのバリアフリー化が進むとともに，障害を持った人も暮らしやすい社会が実現する。					
③世界のエネルギーの半分は風力と太陽エネルギーで作られるようになる。各家庭には風力か太陽光発電機がつけられる。					
④日本や世界では，男女平等の実現が進み女性の社会進出が進んで，女性が晩婚化していく。					
⑤パレスチナ問題が解決するなど，世界の紛争がなくなり，核兵器は廃棄される。					
⑥健康上の理由と動物虐待を避けるために，菜食主義（ベジタリアン）が増え，肉食をする人は少数派となる。					
⑦遺伝子工学の発達により，少ない餌で短期間に発達する動物や，臓器移植のための人間のコピーなどを生産することが可能になる。					
⑧麻薬や覚醒剤が撲滅され，それを売って収入源としていたマフィアが力を失う。					
⑨日本で働く外国人の方が増え，国際交流がすすみ，国際結婚も増える					
⑩（自分でシナリオを考えよう） 「 」					

〈資料★2〉

2月15日(火) 5・6限〈提出用〉コピー後班保管 担当教員サイン

大グループ名：	2年組班
テーマ：	メンバー（グループ長に◎）

★それぞれ担当の先生と今までのプリントをもとに、グループのやりたいところを相談し、中味を練っていきましょう。

〈どんな方に会い、どんなことを聞きたいか〉

★お茶中の先生ではなく、その分野の専門家にお話を聞いたり、自分たちの意見についてコメントをいただいたりして、広がりのある学習を深めましょう。

候補を3名ぐらいしぼって記入しましょう。

①氏名 所属

連絡先、連絡方法：

②氏名 所属

連絡先、連絡方法：

③氏名 所属

連絡先、連絡方法：

〈中間発表でどんなことができそうか〉

★学年全体の学びへとつながるような方法を考えましょう。大グループで約20分。単純に計算すれば1グループ4分が目安です。詳しくは係や担当の先生のお話を聞いてください。

〈中間発表までの計画表〉

2 / 15	5・6限	
3 / 8	5限	
3 / 18	午後 (お茶中外での活動可)	
3 / 22	中間発表	

★春休み、平日の時間を使って専門家の方からお話しをいただく等、個別の活動を行っていきましょう。3年の夏休み前頃までこのグループで総合学習は続けていきます。大きなイベントを行う場合はOWNプラン特別時間割を活用するなど、相談に応じます。詳しくは係や担当の先生から聞いてください。

〈本日調べでわかったことの概要・参考図書名やHPアドレスなど〉

詳しいレポートやホームページをプリントアウトした物を添えて提出しましょう。

★担当の先生と相談しながら記入しましょう。調べて判った内容など記入終わったら担当の先生に見せ、サインを貰い、提出用を提出しましょう。

〈資料★3〉

2学年 総合学習 校外学習に関連して

2005年3月

『Society今私たちにできること』

共通目的

- ① 私たちが興味を持っている分野で、実際に活動なさっている方にお話を伺い、自分たちにできることは何か考えよう。それを参考に行動内容を決めよう。
- ② 訪問グループで協力してしっかりと行動し、きちんとした態度でお話を伺おう。

1. 服 装

原則は制服です。

(訪問先で特別な活動があり、制服で困る場合などは担当の教員へ相談してください。)

2. 時間厳守

訪問先と約束した5分前には建物の入り口に着くように。部屋の前には1～2分前に。早すぎても遅くても、相手の方にご迷惑になります。

(メンバー同士の集合時間はゆとりを持って設定し、かつ絶対遅れないように。)

3. 持参するもの

交通費・見学科・筆記具・生徒手帳・校外学習許可書・封筒に入った訪問依頼書(グループ長が持参)・事前に調べた資料など

※校外学習許可書は、通常学校にいる時間帯に、なぜ校外にいるのか、を警察など身元がはっきりしている方に尋ねられた時、説明と共に見せる

4. 訪問終了後

お礼を丁寧に述べる。

次に、建物を出て、全員メンバーが揃った状態で、お茶中へ電話で必ず終了報告をグループ長が伝えること。(下記の電話番号まで)

5. その他

- ① 始めに自己紹介をしましょう。訪問先の方は、皆さんとお話することとは別に、本業が有ります。ご迷惑にならないように、終了時間など注意しましょう。
- ② 校外学習なので、学校生活のルールがそのまま適応されます。(例：寄り道・買い食いなし)
- ③ 加えて、皆さんの一部の行動も、お茶中生全般として見られますので、訪問先・交通機関の中、歩いている時など、くれぐれもマナーを守ってください。(例1：インタビューでは限られた時間を有効に使うべく、事前に質問事項を整理し、答えてくださる方に負担をかけないように。例2：図書館ではおしゃべりは禁物。また美術館・博物館等でも必要最低限の会話を。)

6. 何か困った時

中学に電話をして、「2年〇組、☆☆です。2年の先生をお願いします」と伝え先生と話してください。

03-5978-5865

☆☆有意義な活動になりますように。☆☆

各 位

2005年3月

お茶の水女子大学附属中学校
校長 小川 昭二郎

訪 問 依 頼

暖かな日が続き過ぎしやすい今日この頃、貴機関におかれましても、益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校の3年生では、現在総合学習として『Society今私たちにできること』というテーマでグループ学習を進めております。今回は、学校での学習活動で経験できない訪問によるインタビュー、体験活動や施設などでの研究を通して学習を深めていく体験をしています。

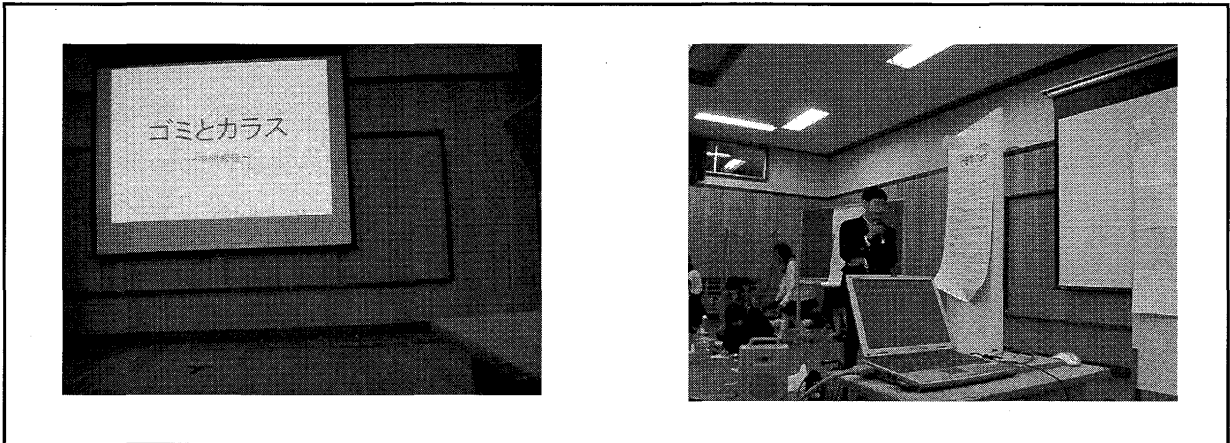
この総合学習の研究・調査体験のため、本校の生徒が貴機関を訪問いたしました。お忙しいところ、ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本来でしたら、事前にこの訪問依頼書を送り、依頼しなければいけないところ、大変失礼いたしました。心よりお詫び申し上げます。また、何かお気づきの点がありましたら、下記までご連絡いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

連絡先：お茶の水女子大学附属中学校
第2学年主任 渡辺 松一

文京区大塚2-1-1
TEL：03-5978-5865
FAX：03-5978-5863

〈資料★4〉



4 課 題

全体としては総合学習全般、またグループ活動への意識が高まった生徒が多いと考えるが、一部の生徒へは不十分で、その働きかけの難しさを感じる。昨年に引き続き大きな課題である。総合学習系の生徒と話し合っ、随時修正を入れながら進めることができたが、待つて待つて生徒の考えを引き出す努力をしたかと考えると多々反省点がある。部活動をはじめ自分のやりたいことがはっきり見えてきている2年生のとり、総合学習系の会合時間をたっぷりとることは如何なものであるか、考えながら関わってきた。総合学習系からのお便り、掲示コーナーなど工夫の余地はたくさんあったが、見通しの提示と共に指導が足りなかった部分であろう。一方しっかりした発表力が生徒に身に付いてきており、直前に精力的に準備し素晴らしい中間発表を行った生徒もいる。その成長にエネルギーを貰いながら、すそ野を広げていく努力をしていきたい。

5 終わりに

生徒が訪問した先の窓口・説明をしてくださった方々に、末筆で恐縮ですが御礼申し上げます。日常の仕事でお忙しい中、お時間を割いてくださり、本当に有り難うございました。

2学年総合学習グループ

大グループ		2学年総合学習グループ一覽		訪問先・活動内容など									
大グループ	組班	小グループのテーマ	小グループのメンバー	訪問先・活動内容など	訪問先・活動内容など								
環境1	K3	ゴミ・リサイクル	女子4名	お茶大小川研究室にて高分子やペットボトルのリサイクルについて学んだ									
	M2		男子2名										
環境2	R1	添加物	女子4名			BSE・輸入食品などに関してHPや新聞などで調べ学習を行った							
	M1		男子2名										
環境3	R2	ゴミとカラス	女子4名					ゴミに関して調べ学習を行い、豊島清掃工場を見学した					
	M5		男子3名										
環境4	U2	ハト公害	女子4名							小石川図書館にでかけ、関連の書籍でハト公害について調べ学習を行った			
	R5		男子2名										
環境5	U5	動物愛護	女子5名									捨て犬や動物愛護に関して調べ学習を行い、ペットショップへ出かけ、インタビュ調査を行った	
	K5		男子2名										
健康1	K1	遺伝子	女子4名	プロジェクトについてインターネットなどで調べ学習を行った									
	U2		男子2名										
健康2	R4	H I V	女子5名			HIVと人権センターにて、H I Vの現状を聞いた							
	U1		男子3名										
健康3	M3	麻 薬	女子5名					東京ダルクにて、麻薬問題の現状を聞いた					
	U3		男子2名										
健康4	K4	遺伝子	女子4名							お茶大研究室に遺伝子組み換えについて話しを聞いた			
	U5		男子2名										
健康5	U1	麻 薬	女子4名									新宿警察にて、麻薬問題の現状を聞いた	
	U4		男子2名										
福祉1	K2	福 祉	女子5名	盲導犬協会訪問の為調べ学習を行いアポイントを取った									
	R1		男子3名										
福祉2	K5	スポーツ	女子5名			車いすバスケットボールに関して調べ学習を行い、ボランティアに参加する為、連絡を取った							
	R4		男子2名										
福祉3	M4	バリアフリー	女子5名					バリアフリーについて、調べ学習を行った					
	R2		男子2名										
福祉4	M5	スポーツ	女子4名							車いすバスケットボールに関して調べ学習を行い、チームの練習を見学に行った			
	K4		男子2名										
福祉5	U3	高 齢	女子5名									セラピー犬と関わっている方に話しを聞いた	
	M4		男子2名										
平和1	M2	戦 争	女子4名	イラク戦争について調べ学習を行いイタビュ調査の準備を行った									
	M3		男子2名										
平和2	R5	戦 争	女子5名			調べ学習後、六本木ヒルズで東京大空襲展を見学した							
	R3		男子2名										
平和3	U4	戦 争	女子5名					宗教と平和のつながりについて調べ、インタビュ調査の準備を行った					
	K1		男子3名										
平和4	R3	子 ども	女子5名							ゲームと犯罪について調べインタビュ調査の準備を行った			
	K2		男子2名										
平和5	M1	子 ども	女子4名									若荷谷駅前でWFPの募金活動を行った	
	K3		男子2名										

「未来の展望」		2004.11.30				4人で話し合ったときにでてきた考え
未来のシナリオ 私が生きている間に実現しそうか？	可能	ありそう	不可能	なあってほしい	ほしくない	
①先進国が開発途上国に援助し、世界の国々はみな豊かになる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		豊かになって欲しいけど地球の資源とムリかも
②建物などのバリアフリー化が進むとともに、障害を持った人も暮らしやすい社会が実現する。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		いま現在にやっているのでもこの先も進むのはあきらま
③世界のエネルギーの半分は風力と太陽エネルギーで作られるようになる。各家庭には風力か太陽光発電機がつけられる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		風力発電機か太陽光発電機かは今現在決まってる。
④日本や世界では、男女平等の実現が進み、女性の社会進出が進んで、女性が晩婚化していく。			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	...
⑤パレスチナ問題が解決するなど、世界の紛争がなくなり、核兵器は廃棄される。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		あつて欲しいけどムリ
⑥健康上の理由と動物虐待と避けるために、菜食主義（ベジタリアン）が増え、肉食をする人は少数派となる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	絶対あつてない！
⑦遺伝子工学の発達により、少ない餌で短期間に発達する動物や、臓器移植のための人間のコピーなどを生産することが可能になる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		いろいろあってるんですけど実現するのかわかんない...
⑧麻薬や覚醒剤が撲滅され、それを売って収入源としていたマフィアが力を失う。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		人に依存する限りには不可能だし...
⑨日本で働く外国人の方が増え、国際交流がすすみ、国際結婚も増える	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		今現在あるから...
⑩（自分でシナリオを考えよう） 「人類が他の惑星に住めるようになる」	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		4人 絶対あつてほしい！ 他の惑星はあつてほしい。

(2年 松組 番 氏名(4班+5班))

総合学習 (2年生) Society ~今知ることができる社会~

これからの総合学習をすすめるにあたり、小グループごとと生活重んじていこうと思っております。ごめがらサブリマータの中で、第1・第2・第3希望を選んでください。

- 戦争と平和
- 子どもの人権 (ユニセフや国際協力、など)
- 環境問題 (緑化・酸性雨・太陽エネルギー、など)
- 食品・食生活 (食の安全性 等)
- スポーツ (ハンディキャップ 等)
- 麻薬
- 動物保護
- 高齢者・障害者の福祉 (バリアフリーを考慮、ボランティア等)
- 伝統の保存・伝承 (再びつう 長期使用)
- 3R (リデュース・リユース・リサイクル・ロングユース)
- 遺伝子 (遺伝子組み換え食品等)
- 宗教・文化 (在日外国人の支援、ボランティア 等)
- エイズ

※ やり直しサブテーマは今の班の中の男子・女子で決まっております。

2005年1月20日

第1希望 (子どもの人権)

最終的に
この行動を
行っている
理由

子どもの社会問題が
明らかで、
ユニセフやNIP
を見てみると
現在に
理解を深めたい

第2希望 (環境問題)

理由
最近異気象が
おこっているから。
今の気候や温度の
変化が
わかっていない

第3希望 (高齢者・障害者の生活)

理由
日本が高齢化社会になり
いる人が増えてきたので
高齢者や障害者の生活に
関心を持ってみたい
高齢者の生活や障害者の生活に
関心を持ってみたい
話を聞く

2年K組 之班 男子or女子

ご協力ありがとうございます

2005.1.25

2年M組3班

メンバー

(4) 5・6限の準備 発表時間1分～1分半

発表者 ()

発表すること・テーマ

- ・なぜこのテーマにしたか、疑問に思うこと、社会をかえたいと思うこと
- ・知りたいこと、調べる方法・実験の方法
- ・学年発表会での発表方法
- ・実際に社会の中での行動として具体的にやってみたいこと など

★アビールのしかたの工夫も考えよう。ただ原稿を読みあげるだけでなく、印象深く、わかりやすく伝える工夫をしよう

原稿

このテーマにした理由

→保健の授業で初めてもっと深く質問したいと思ったから

知りたいこと

→ミネラルとその他の影響の違い

小麦粉と麻薬の違いを見分ける

やが前の心境と聞いた理由。(やがらと思ったきっかけ)

どうやってやめたのが、当時のことをどう思っているか。

調べる方法・実験の方法

→警察・病院・たばこかハウスに行く(行って話を聞く)

現状調査 心算など

街かきインタビュー(場所2"と12)

発表方法

→インタビュー映像を流す

パワーポイントを使う

行動

→ホスターを町(駅)に設置

ホームページを作る

ニコレットみたいな新製品を業者に依頼する

テーマ
麻薬